

会 議 記 録

会 議 名	第五次和光市総合振興計画策定委員会 第1回会議
開 催 日 時	令和元年5月8日（月）午前10時30分～午前11時00分
開 催 場 所	庁議室
出 席 者	別紙のとおり
次 第	1 開会 2 議事 (1) 策定体制について (2) 策定スケジュールについて 3 報告 (1) 総合振興計画審議会委員構成について 4 その他 5 閉会

1 開会

委員長

それでは、「第五次和光市総合振興計画策定委員会 第1回会議」を開会します。
初めに、昨年度の経緯等を説明させていただきます。

資料1は、本年1月及び2月の政策会議において審議・決定された総合振興計画策定にあたっての進め方などについての方向性を示したものです。

1ページに次期総合振興計画策定の趣旨が記されています。令和2年度を目標年次として取り組んできました「第四次和光市総合振興計画」が終期を迎えますので、第四次和光市総合振興計画策定後の社会環境の変化に対応し、併せて新たな時代に対応できるまちづくりと行政運営の方向性を示し、計画的に施策の推進を行うため、第五次総合振興計画の策定を進めてまいります。この五次総の策定と併せて、次期和光市まち・ひと・しごと創生総合戦略についても一体的に策定を検討してまいります。

策定にあたっての方向性としては、8つの方向性が示されています。

「①将来のまちの魅力を高める投資を盛り込んだ計画」については、厳しい財政状況が続くことが予想されますが、将来の「稼ぐ力」につながる投資を盛り込んでいくこと。

「②市民と行政とで想いを共有した計画」については、市民参加を重視した策定プロセスを展開すること。

「③職員参加を充実させた計画策定」については、様々な世代の職員が部門横断的に関わっていけるような工夫を行い、職員参加を充実させること。

「④社会情勢の変化に対応した計画」については、人口構造の変化やテクノロジー

一の進化など、社会情勢の変化に対応していくこと。

「⑤地方創生の視点を取り入れた計画」については、次期総合振興計画の策定にあたっては、まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化した計画としていくこと。

「⑥財政見通しを明らかにした計画」については、財政計画と併せて策定することにより、財政見通しが明らかとなる計画にしていくこと。

「⑦施策と事務事業の体系の再整理」については、施策や事務事業の体系についても見直していくこと。

「⑧市民の共感が得られる方法による周知」については、策定された計画について、多くの市民に共感してもらえるよう周知の工夫を行っていくことが示されています。

3 ページには計画の構成と期間が示されています。基本構想については、10 年間の計画とし、目標年次を2030年度とすることとなっております。

実施計画については、4 か年とし、各市長任期を期間とすることとなっております。

4 ページの策定体制については、先ほどご説明した策定にあたっての方向性に基づき、市民参加や職員参加を充実させたものとしていきます。

また、総合振興計画審議会も設置いたします。総合振興計画審議会には、総務環境部会と文教厚生部会を設置し、分野別にきめ細やかな審議を行っていただきます。委員構成等につきましては、後ほど、次第3の報告にて事務局から説明をさせていただきます。

市議会との関係については、2020年（令和2年）9月定例会での議案の上程を予定しております。それに先立ち、全員協議会などの場にて随時情報共有を図ってまいります。

また、本策定委員会は、資料2の第五次和光市総合振興計画策定委員会等設置要綱に基づき設置するものです。

委員の構成は資料3の委員名簿とおりです。設置要綱第3条第2項の規定に基づき、委員長を橋本が、副委員長を安井総務部長が務めます。和光市のまちづくりという視点から部門横断的に議論を重ねていければと思いますので、どうぞ、よろしくお願いします。

2 議事

(1) 策定体制について

事務局説明

資料4の「第五次和光市総合振興計画の策定体制」は第五次和光市総合振興計画策定方針で示された策定体制をより実務に落とし込んだ形で図式化したものとなります。

原案作成から議会の議決までのプロセスを4段階に分けて示しております。

まず、基本構想原案の作成についてです。基本構想の原案の庁内検討に先立ち、政策課及び策定支援事業者としてプロポーザルにて選定された梵まちづくり研究所が事務局となり、基本構想原案の作成を進めてまいります。

基本構想原案の策定にあたっては、基礎調査、市民意識調査のほか、市民参加による和光100年まちづくり会議や若手職員の職員参加による職員プロジェクトチームの取組による成果を活用させていただきます。

基礎調査にあたっては、全庁的に、必要な基礎資料などの情報提供や、ヒアリング対応などご協力をお願いすることになりますが、ご協力よろしくお願いします。

また、和光100年まちづくり会議は、概ね4回程度の市民ワークショップの開催を行うものですが、このキックオフ集会には、職員プロジェクトチームのメンバーの職員をはじめ、多くの職員の方にも参加いただき、市民と行政とで想いを共有していただくことをお願いいたします。本市が重点的に取組を進めている都市基盤整備の分野の第一人者の一人である早稲田大学の後藤春彦教授をゲストに迎え、和光市の今後のまちづくりを考えていくきっかけとしていくことを予定しています。日付は、後ほどご説明いたしますが、9月1日（日）の午前中を予定しています。職員プロジェクトチームの方につきましては、政策課予算で超過勤務対応をお願いすることを予定しております。

職員プロジェクトチームにつきましては、先ほどのキックオフ集会のほか、平日の業務時間内に、それぞれ3回程度の会議参加をお願いすることを予定しております。若手職員を中心とすることを予定しておりますが、プロジェクトチームメンバーの選出方法や具体的なメンバーへの依頼につきましては、後日詳細が固まり次第ご連絡させていただきますので、その際にはご協力をお願いします。

続いて原案庁内検討についてです。基本構想の原案策定の各段階において、順次、検討委員会及び策定委員会にて検討をしていただくことになります。

まず、部長級で構成される策定委員会の役割ですが、審議会への付議案の検討をしていただくことになります。

それに先立つ検討委員会ですが、課長級による会議となります。検討委員会での検討事項は、細部に渡るきめ細やかなものとしていく必要がありますので、初回の趣旨説明や基礎調査結果の報告を除いては、基本的に部会形式で実施します。部会は現在の総合振興計画における基本目標別に設置し、分野別に検討をしていただきます。

続いて、基本構想案の作成・市長への答申についてです。策定委員会で承認された事柄につきまして、順次総合振興計画審議会に付議し、審議を進めてまいります。総合振興計画審議会は、本会議を6回、部会を各2回程度を予定しております。

パブリックコメントについては、骨子段階と素案段階でそれぞれ行います。骨子段階というのは、具体的には、将来都市像や基本目標、施策体系などのことですが、骨子段階においてもパブリックコメントやそれに伴う市民説明会を開催していくことにより、幅広い市民の声を拾い上げていきます。

最後に議会の関連については、令和2年9月定例会に議案上程、特別委員会あるいは常任委員会の審査を経て12月定例会で議決という方向性で議会と調整を進めていきたいと考えております。

【意見・質問】

- ・第四次策定の際、コンサルタント事業者が生産緑地や都市計画法53条を考慮せ

ず人口推計を行ったところ、人口が9万人以上の推計が出ました。和光市の基礎データをコンサルタントに説明し、適切な人口推計を導き出すようにしていただきたいです。

- ・資料1の4ページ(2)に総合振興計画審議会の総務環境部会と文教厚生部会を設置すると記載されていますが、現在議会では2部会の見直しの提案があります。福祉と教育、それ以外と分かれています。福祉と教育でかなりの予算を占めており、委員会も時間を要しています。例えば議会側が変更した場合、進行に影響はありますか。
- 総合振興計画の基本目標にある4つで、「Ⅰ 都市基盤」と「Ⅳ 生活・環境・産業」が総務環境部会、「Ⅱ 教育・文化・交流」と「Ⅲ 保健・福祉・医療」が文教厚生部会としており、議会側の変更があった場合でもこちらの構成で進めることに支障はないものと考えています。
- ・5ページの策定スケジュールの議会関連で、第四次策定の際は特別委員会を立ち上げ、その都度担当から説明があったと思います。今回は全員協議会内で説明を行いますか。
- 第四次策定の際は、最終年度の10月から12月にかけて特別委員会を開催しており、それまでの期間は全員協議会を中心に各段階の説明を行っていました。今回も中間報告という形で議会に逐次情報提供を行う形です。
- ・市民参加についての様々な手法を組み合わせると思いますが、「和光100年まちづくり会議」の中で検討している新たな手法はありますか。
- 現在検討中の部分がありますが、今回、ワークショップや地図の取扱いに強い事業者が選定されているので一緒に考えていきたいと思っています。地図に付箋を貼るような作業を市民と行いつつ、最終的に打ち出す総合振興計画についても空間デザインを意識し、視覚的にも分かるものを目指しています。
- また、参加者の募集については、SNSの活用や地域デザイナー養成塾に関わりを持った市民に参加していただくことも考えています。
- ・コンサルタントに選定された梵まちづくり研究所が支援している計画等を教えてください。
- 都市計画や地域計画を中心に取り組んでいる事業者です。従来型の総合振興計画と比べ、見せ方や市民の巻き込み方に長けています。
- ・策定方針に2ページ⑤の「まち・ひと・しごと創生総合戦略と一体化した計画とする」と記載されていますが、議会に諮る事項が従来より増えますか。
- まち・ひと・しごと創生総合戦略を総合振興計画に取込んでいくものと考えていただければと思います。策定時は、まち・ひと・しごと創生総合戦略は議決事項ではなかったようです。

(2) 策定スケジュールについて

事務局説明

資料5の「第五次和光市総合振興計画策定全体スケジュール」は、横が時間軸、縦が取組の主体となっており、それをチャート形式で整理したものです。

表の左上の方に「策定に向けたスケジュール（主な作業）」と書かれているところがスケジュールの概要となっており、それより下の段は各主体別の詳細な取組を示したものです。

これから8月上中旬にかけては、基礎調査や市民意識調査などを進めてまいります。9月以降、市民参加の取組である和光100年まちづくり会議や職員参加の取組である職員プロジェクトチームの取組を進めていきながら、構想骨子を固めます。年明けには構想素案の作成を進め、令和2年度早々に構想素案についてのパブリックコメントを行い、9月議会への上程へと進めます。12月議会での議決を経て、基本構想を決定していくことを検討しています。

審議会につきましては、第1回を7月24日（水）、第2回を10月下旬、第3回を12月下旬、部会を1月中旬から2月中旬、第4回を3月下旬、第5回を5月中旬、第6回を8月上旬とすることで予定しております。

策定委員会につきましては、基本的に、これらの審議会に先立ち開催することになりますが、本日と同様、政策会議後に同日開催するような形で開催させていただくことを予定しております。

【意見・質問】

- ・資料6の総合振興計画審議会委員構成で市の職員が企画部長のみですが、部会別に2回開催する際はどのように対応しますか。
 - 部会は同時開催せず、午前と午後に開催する等、時期をずらして設定することを予定しており、2部会とも企画部長に出席いただくことは可能です。部会にも出席するかどうかは検討していきます。
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定する時期は総合振興計画と一致していますか。
 - 総合振興計画は10年ごとのスパンで策定していますが、まち・ひと・しごと創生総合戦略は消滅都市が生まれるという増田レポートを受け、過疎地域を中心に地方に人口をとという計画を至急立てる必要があったという経緯があります。今回は緊急性がないため、総合振興計画との整合を取りながら策定していきます。
- ・資料6の総合振興計画審議会委員構成の中に、まち・ひと・しごと創生総合戦略の委員構成も配慮いただければと思います。
 - 金融機関や研究機関の意見聴取を行うことがまち・ひと・しごと創生総合戦略の趣旨でしたので、従来の総合振興計画審議会委員に取込む形で構成しています。

3 報告

(1) 総合振興計画審議会委員構成について

事務局説明

資料6の総合振興計画審議会の委員構成については基本的に、第四次和光市総合振興計画策定時の委員構成を踏襲したうえで、分野の偏りが生じないように調整を行いました。

また、次期総合振興計画は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を兼ねたものとしていく方針であることから、総合戦略の策定にあたり関与することが求められている金融機関や研究機関、民間企業などを委員に加えております。

学識者については、駅北口地区高度利用化の取組などで本市と関わりがある日本大学の中村教授と、包括協定を締結している文教厚生分野の大学である十文字学園女子大学から推薦いただいた吉田教授の2名とし、それぞれ総務環境部会、文教厚生部会に関与していただくことを予定しております。

公募市民については、前回にならって6名を公募したところ8名の応募があり、条例上の定数に枠があることや、全公募市民が基準点に達していたことなどを勘案し、8名の市民の方をお願いすることになりました。

開催日は、民間企業などにも委員推薦をお願いする都合から、平日昼間とすることとしました。

【意見・質問】

- ・委員構成を変更することは可能ですか。
→ 現在委員数を27名の予定としていますが、条例の定数が30名以内なので可能です。特定の分野だけ委員数が厚いのもバランスに欠けるという考えから、現在の構成にしています。
- ・公募委員の男女比や年齢構成を教えてください。
→ 男女は半々で様々な年齢の方にご応募いただいています。
- ・委員会に設置要綱はありますか。
→ 条例を制定しています。
- ・社会福祉協議会と自治会連合会の会長は同じ方ですが、委員構成が重複しないよう配慮されていますか。
→ 別々の委員に出席いただくよう調整しています。

4 その他

事務局説明

次回の総合振興計画策定委員会については、7月9日（火）の政策会議後に開催を予定しております。7月24日（水）の第一回総合振興計画審議会にて、本市の現状と課題について報告を行うのに先立ち、その内容についてご確認いただくことを予定しております。

【意見・質問】

- ・別の審議会の委員から内容が難しい、私が意見を言って良いのかという感想を聞きました。市民が分かりやすいよう内容をかみ砕いていただければと思います。
- ・資料をなるべく早めに配付いただくようお願いします。

5 閉会